



第4回定例市議会開催

くまがい市議「防災」「公共交通」を質す



昨年12月4日から13日まで開催された第4回定例夕張市議会での、くまがい桂子市議の質問・答弁・意見の概要をお知らせします。

◆◆◆ 一、防災について

質問1 夕張市における防災の取り組みについて、市の防災計画にある、自主防災組織の設置・育成の現状は。

答弁1 地域の自主防災組織については、現状は未設置。現在二つの町内会で設置に向けて協議中。
質問2 胆振東部地震の際の広報手段は。答弁2 今回の地震で

は電力不足で、給排水や職員体制の維持に苦慮した。広報は市のホームページやツイッターできめ細かに発信し、車両を使った広報をした。限られた財源の中で、具体的広報の手法について、今後効果的な方法を考えていく。

災害にも対応できる職員体制を補助金アップでタクシー確保を

質問3 避難所の開設、福祉避難所の指定は。答弁3 避難所については、市が必要と認められた時に開設する。福祉避難所は、対象となる75歳以上の世帯は1600世帯

質問4 高齢化が進む地域の防災対策は。答弁4 高齢化した地域での防災について、安否確認や移送計画

の他、障がいを持たれた方も対象となる。現在1か所のみを確保し、今後増やしていきたい。
質問5 災害対策本部となる庁舎が耐震化されていないが、代替施設は。答弁5 消防本部等が考えられるが、庁舎の耐震化は大きな課題であり、今後どういう方法があるのか考えていく。

質問6 今回の地震で、近隣のまちの8割前後が避難所を開設したが、夕張市では開設されず、自主避難をしたか。市民は改善が求められてい

る。今後も地震や災害が増えるとの予想される中、自助の啓発、さらに共助としての各地域の自主防災組織の設置について、是非ご尽力をお願いしたい。また、広報に必要な職員を確保・充実させ、市民の安心・安全に万全を。

二、公共交通について

質問1 JR廃線後の代替バスの運行ダイヤについて事業者

答弁1 南北軸・現行路線を基本に接続を確保し、現行バス停に加え、石炭博物館まで運行する。
質問2 代替バスの運行後のデマンド交通について、見直しはあるのか。答弁2 札夕線の路線バスとの接続や、必要のあった復路便の

時間短縮を調整中。
質問3 代替バス運行後の敬老パスの取り扱いについて、変更はあるか。
答弁3 目的の地まで百円で行ける制度に変更予定はない。是非公共交通の利用を。
質問4 タクシー乗車運賃補助制度の利用地区で、朝の予約が取れないことへの対応は。
答弁4 この制度の利用時間帯は、朝9時以降となっており、それ以前はスクールバスに混乗をお願いしている。今後、市の資格取得補助を利用した二種免許取得等について周知に努めたい。

の周知のみだった。広報車のさらなる活用や、ホームページやツイッターでの情報を得られない多くの市民に向けて、補助金や講習も含めてスマートフォンでの普及に努める等、災害情報の共有をしっかりと進めていただきたい。さらに、福祉避難所は学校の特別教室等も積極的な活用が推奨されているので、充実を。高齢化が進む地域には、地域支援員の制度を活用した地域の活性化の検討を。庁舎が

望のあった復路便の必要人材の確保を要望する。

質問5 タクシーについては、一般市民から利用したい時にできないとの苦情が出ている。スクールバス運賃による運転手不足解消のために、市の補助金をさらにパワーアップさせ、市外にも発信して、必要人材の確保を要望する。

平成31年 夕張市成人祭開催

1月13日、夕張市成人祭は石炭博物館で開催されました。共産党後援会は33名に「新成人おめでとう！」のパンフレットを渡しました。また、ゆうばり女性九条の会も「憲法9条、明日をつむぐ」のリーフレットを渡していました。



夕張太鼓保存会「竜花」の演奏に聴き入る新成人のみなさん

1市4町の会新春街頭宣伝



1月5日(土)、市民と野党の共闘をすすめる1市4町の会が行いました。スタートは、午前10時夕張ニコット店前で焼く20名が集まり、安倍9条改憲NO!を訴えました。立憲民主党からは千葉栗山町議、共産党からは重山栗山町議が挨拶しました。

平和団体からは、「明日の平和をつくりだす夕張の会」と「市民と野党の共闘をすすめる十区の会」のメンバーが訴えました。栗山での街宣中猛吹雪になり、予定していた由仁・長沼・南幌の街宣は延期になりました。

くずさんの 夕張歴史散歩 (103)



明治維新 番外編

この「歴史散歩」も、連載百回を超えるました。これもすべて読者のみなさまのお蔭と感謝しております。今後もよろしく、ご愛読をお願い致します。

昨年二〇一八年は、明治維新一五〇年を謳い、安倍政権はこと更に「明治時代」を賛美し、日本の美しさ、日本の強みを強調しました。しかし、この一五〇年の歴史は、侵略戦争にまみれた前半の八〇と、平和憲法のもとで戦争のなかった後半の七〇年とは、明白に別物なのです。

明治維新とは何だったのか

明治維新そのものが、暴力とテロに明け暮れたものだったし、近代化を目指す過程でも富国強兵・殖産興国路線をとり、国民の犠牲を強要します。そして財閥を育成し、多くの土地を収奪して行きます。そして対外的には、脱亜入欧論で裏打ちされた侵略路線をひた走ったのです。これらの背景として在ったのは、人格化した天皇を絶対的力とした有無を言わせぬ体制でした。その完成した形が明治憲法だったのです。

明治政府は、生まれながら侵略戦争に

明治政府がまず取りかかった事は、急いで先進欧米と肩を並べようと、他国を侵略して「強さ」を主張します。それはまず朝鮮への侵略・植民地支配から始まります。その過程では、目のおう残虐で非道な行為がつづきます。この人間の尊厳を傷つけてきた事実を明らかにしなければなりません。それは「美しい日本」を唱える勢力に対する、告発になるでしょう。



紙智子「国会かけある記」
参議院議員

歴史的決戦の年！

2019年がスタートしました。骨折のため年間続けた元旦宣伝への参加は断念しました。1月4日には日本共産党北海道党の新春旗開きに参加しました。ご心配をおかけして申し訳なく思いつつ、後援会の皆さん、道議会議員、市議会議員とその候補者、来賓の皆さんと顔を合わせ、激励をうけたことが大きな励みになりました。7日は北農中央会の新年交社会に畠山和也さんと参加、農協関係者や、他党議員の皆さんとも挨拶。北海道難病センターにも出かけ挨拶することができました。

その後東京へ向かいお医者さんに。「レントゲンで見るとわずかですが新しい骨が再生しつつある」と言われホッとしましたが、さつそくツイッターで発信すると、「骨頑張れ！」との返信をいただきました。私も骨に向かって頑張れと言いつつ、骨になる食べ物を多くとるようにしています。松葉杖から足をつけて歩けるようになるまでは、我慢しながら徐々に活動量を増やしていこうと思います。

今年は歴史的決戦の年！安倍政権退場へ、対決点が鋭くなっています。一方では9条改憲発動や沖縄の辺野古の基地建設をめぐるせめぎあい、他方では首相自らトップセールスではじめた原発輸出が総破綻し、国内では女川原発再稼働の是非を問う県民投票請求署名が11万筆を大きく超えるなど原発ゼロのたたかいや、種子法廃止に対して地方議会で見解書の動きが広がっています。共同を力強く発展させるときです。